

高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2025 愛知 実施要項 2025.2.7

- 1 主 旨 (公財)愛知県サッカー協会は、(公財)日本サッカー協会が目指すリーグ文化の更なる浸透の定着の実現に向け本リーグを実施する。これを受けてPlayers Firstを念頭におき、県全体での拮抗したリーグ戦を行うことにより3種年代全体のレベルアップをはかる。
- 2 主 催 (公財)愛知県サッカー協会
- 3 主 管 (公財)愛知県サッカー協会3種委員会
- 4 協 力 株式会社 モルテン
- 5 日 程 (1) 2025年2月～10月
(2) 日程調整において考慮されるのは原則メニコンカップ、中体連関係の試合、修学旅行など重要な学校行事、地区以上のトレセン活動とする。
(3) リーグ戦が不成立の場合は順位を決定しない。(昇降格も行わない)
ただし、東海リーグ参入戦が行われる場合は、終了時点の勝ち点率(勝ち点÷試合数)でTOPリーグの1位と2位のみ決定し出場権を与える。
(4) 最終的な順位決定(降格含む)については、最終期限時点の結果によるものとする。
最終期限：全リーグ10月最終日曜日(プレーオフは除く)
- 6 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に2025年度に第3種登録したチームであること。
(2) 2010年4月2日～2013年4月1日に生まれた選手で第3種登録された選手。
(3) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、本協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
(4) 複数チームの参加を認めるが2チームまでとする。
ただし、2チーム参加している場合(東海と県、県内)でも、日程が重ならないようにする等の配慮はしない。
(5) リーグの全日程に必ず参加できること。
(6) リーグ長より示された日程通りに試合を実施できること。
(7) 有資格者の審判員を2名帯同できること。(高校生以上。2名うちの1名は3級以上で、主審は3級以上の資格を有しているものが担当すること)
(8) 学校チームは学校長の承認があること。
(9) 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。(学校チームにおいて、スポーツ振興センターに加入している選手はこの限りとしない)
(10) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の参加については、条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。
ただし、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
- 7 リーグ編成 TOPリーグ・・・10チーム
1部リーグ・・・10チーム
2部リーグ・・・24チーム(A・Bブロック)
3部リーグ・・・24チーム(A・Bブロック)
4部リーグ・・・65チーム(A・B・C・Dブロック予定)
地区リーグ・・・6地区でのリーグ戦(ブロック等は各地区で決定)
- 8 表 彰 各リーグ1位を表彰
- 9 競技方法 (1) ① TOP・1部は10チームによるリーグを基本とし、ホームorアウェイ2回戦総当たりの18試合を実施する。
② 2部、3部リーグはA・Bブロックとも12チームの1回戦総当たりを前期リーグとする。前期リーグの順位をもとに上位(各ブロック1～6位)と下位(各ブロック7～12位)に分かれ、後期リーグを行う。後期リーグは前期リーグと異なるブロックの6チームと対戦する。前期・後期リーグの計17試合の結果により順位を決定する。
③ 4部リーグは各ブロック1回戦総当たりで試合を実施する。4部リーグは参加チーム数により、1ブロックのチーム数が増加・減少する場合がある。
④ 地区リーグにおいては地区の事情に応じてブロック数、各ブロックのチーム数等を決定する。各リーグとも1回戦総当たりを基本とする。組合せは各リーグにて決定する。
(2) 試合時間は70分(前後半各35分)とする。
(3) ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則10分間以内
(4) 順位は①勝ち点(勝ち3・引き分け1・負け0)②得失点差、③総得点、④対戦成績、⑤抽選により決定する。
- 10 競技規則 (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2024/2025」による。
※ 競技規則に改訂があった場合の対応については、3種委員会において協議し、決定する。
- 11 登 録 (1) 大会選手登録については事前エントリーはなしとする。(試合当日の提出のみ)
(2) 毎試合の登録は、メンバー表に先発11名に○、ベンチに入らない選手に取り消し線、ベンチ入りスタッフに○を付けることとする。ベンチ入りできる人員は最大35名(監督1名、コーチ4名以内、選手30名以内)とする。
(3) 試合の60分前までに登録選手の選手証(写真添付により、顔の認識ができるもの)と登録の記入を終えたメンバー表を2部、本部に提出する。
(4) 複数チームの監督を兼ねることはできない。(コーチは兼ねられる)
- 12 交 代 (1) 選手交代は7名以内とする。再交代はできない。
(2) 後半の交代回数を3回までとする。(1回で複数人交代することは可能)
(3) 前半、ハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
(4) 後半のクォーリングブレイク、飲水タイムのインターバルでの選手交代も、後半の選手交代の回数に含まれる。
(5) 脳震盪またはその疑いがあると、双方のチームのスタッフが認めた場合は、後半交代回数関係なく脳震盪交代として1試合に1名の交代ができる。その場合、相手チームは通常交代とは別記、追加交代として1名1回の交代を追加で得ることができる。(別紙参照)
(6) 後半の交代回数が3回を超えた場合は、没収試合とし結果を0-3とする。
- 13 懲 罰 (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会制定「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
(2) 本大会において退場を命じられた選手、監督、コーチは、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律委員会において決定する。
(3) 本大会期間中に警告を3回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。
(4) 重大な違反をしたチームは3種委員会の規律委員会にてその処罰を決定する。
- 14 試 合 球 試合球は、ヴァンタッジオ4900芝(品番F5A4900)及び、JFA検定球(日本サッカー協会の定める規格に合格したボール)や、さらに厳しい規格のものを使用する。
- 15 ユニフォーム (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用すること。
(2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
(3) 主審が対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しづらいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
(4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすく組み合わせを決定

することができる。

- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、着用する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。2部、3部、4部リーグは、着用するソックスと同色でなくても良いが、チーム内で統一したものを着用する。
- (6) アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同じ色で1色とする。または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。2部、3部、4部リーグは、アンダーシャツの色は問わないがチーム内で統一したものを着用する。
- (7) アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。2部、3部、4部リーグは、アンダーショーツおよびタイツの色は問わないが、チーム内で統一したものを着用する。
- (8) シャツの前面・背面に選手番号をつけること。また、シャツの前面にはチーム名称もしくはマークが入っていること。ショーツにも背番号と同一の番号をつけることが望ましい。
- (9) ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみ認める。ただし、(公財)日本中学校体育連盟加盟チームは規程によりこれを認めない。
- (10) その他については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

16 その他

- (1) 先発選手は試合開始5分前に本部前にてメンバーチェックを行う。
- (2) 「2チーム参加しているチーム」のセカンドチームは、ファーストチームと同じリーグに所属しないこととする。ただし、ファーストチームが4部に所属する場合は同じブロックに所属しないものとする。
- (3) ブロック選手制について
「2チーム参加しているチーム」のファーストチームに所属する選手のうち14名をブロック選手として指定する。
メンバー表の通番1～14をブロック選手とし、ブロック選手はセカンドチームの所属するリーグに選手登録することはできない。
※ ブロック選手の変更期間
〈TOP、1部に所属するファーストチーム〉
①各チームの5節 - 6節間、②各チームの前期終了時、③各チームの14 - 15節間(左記の3回とする。)
〈2部、3部に所属するファーストチーム〉
①各チームの6節 - 7節間、②各チームの前期終了後(左記の2回とする)
〈4部に所属するファーストチーム〉
①各チームの5節 - 6節間、②各チームの10節 - 11節間(左記の2回とする)
- (4) 本リーグに参加しているチーム間での選手の移籍は「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」に則り認める。
- (5) 愛知県下に午前6時に暴風(暴風雪)警報が発令されていた場合は、その日の大会を延期する。
- (6) 午前6時に大雨警報や洪水警報が出ており、会場運営ができず、試合を中止する場合は、リーグ長に連絡の後、会場担当のチームで該当チームに連絡をすること。
- (7) 試合中に雷が発生し、試合が続行不可能になった場合は、続行不可能になった時点での得点・残り時間で、再び試合を行う。(同審判で行えない場合もある)
- (8) TOPリーグの優勝、準優勝チームは、11月に開催される高円宮杯JFA第37回全日本U-15サッカー選手権大会東海大会の出場権を得られる。ただし、セカンドチームには東海大会の出場権を与えない。
- (9) 全日程を消化することが難しい場合の対応
リーグ戦の全日程を消化することが難しい状況になった場合は、JFAおよび愛知県サッカー協会の方針に則り次のように進めていく。
全リーグの全チームが全日程の70%以上を消化した段階でリーグ戦成立とする。順位は終了時点の勝ち点率(勝ち点÷試合数)で決定する。
(昇降格も行う)
- (10) ゲームキャプテンは、キャプテンマークを必ず着用する。
- (11) 大会要項に規定されていない事項については、3種委員会において協議の上決定する。

17 昇降格規定

- (1) 各リーグの昇降格規定(東海リーグへの昇降格がなかった場合を想定)
16 その他 (2)に記載されているようにファーストチームとセカンドチームが同じリーグに所属しないことを念頭において昇降格を行う。プレーオフについても同様とする。
〈TOP〉 上位2チームが東海リーグ参入戦に参加する権利を得る。下位2チームは1部リーグへ降格。
〈1部〉 上位2チームはTOPリーグへ昇格。下位2チームは2部リーグへ降格。
〈2部〉 上位リーグの上位2チームは1部リーグへ昇格。下位リーグの下位4チームは3部リーグへ降格。
〈3部〉 上位リーグの上位4チームは2部リーグへ昇格。下位リーグの下位4チームは4部リーグへ降格。
〈4部〉 各ブロック上位1チーム(計4チーム)は3部リーグへ昇格。各ブロックの2位と3位チーム(計8チーム)はプレーオフを行う。
- (2) プレーオフ(東海リーグへの昇降格がなかった場合を想定)
〈4部プレーオフ〉 4部2位と3位の対戦とする。組み合わせはプレーオフ監督会議時の抽選にて決定する。
〈入れ替え戦〉 1部8位と2部3位の対戦とする。
2部19位と3部6位、2部20位と3部5位との対戦とする。
3部の降格する4チームを除いた下位4チームと4部のプレーオフを勝ち抜いた4チームとの対戦とする。組み合わせはプレーオフ監督会議の抽選にて決定する。
本リーグ戦と競技方法は変更しない。引き分けの場合、上位の部のチームの勝ちとする。(12月上旬～下旬予定)
入れ替え戦の審判員は、県3種から派遣する。その他詳細については、プレーオフ監督会議にて連絡する。
- (3) リーグ戦終了後から次年度のリーグ監督会議までで辞退チームが生じた場合について
・ TOP、1部、2部、3部のチーム数を揃えることを優先させる。
・ 辞退チームが生じた1つ下のリーグの上位チームから優先的に昇格させる。
・ 3部に辞退チームが生じた場合、入替え戦に敗退したチームを優先し、抽選によって昇格チームを決める。
・ 抽選の場合、3部チームと4部チームを同等に扱う。